

宇野静山は、1906年北海道留萌管内の苫前町に生まれました。札幌師範学校(現・北海道教育大学)を卒業。“現代書道の父”と呼ばれた比田井天来に師事し、書家としての途を歩み出します。小樽市内で高等学校の教師を務めながら研鑽を積み、線を大切にする正統派で、骨太・簡潔な書風で知られました。1948年に創設された「毎日書道展」で当初から運営に携わり、53年には日展に入選。臨書を基礎にした斬新な作風で、戦後北海道書道界のけん引役として活躍しました。1940年自ら「臥龍社」を創設し、1964年第1回展を開催。門下のそれぞれの個性を尊重しながら、気品と風格のある書風を浸透させ、半世紀にわたって指導を続け、金子鷗亭と同年代の北海道の先達の一人でした。

漢字を中心に、調和体の濃墨、淡墨から篆刻まで多彩であり、小樽に書道文化を根付かせた功績から、小樽市文化功労者(1970)、続いて、北海道文化賞(1977)、地域文化功労者文部大臣賞(1987)を受賞しています。

80歳で中国・大連で個展を開催するなど、海外にも活躍の場を広げ、最晩年は「人生百年」を好んで書きました。

長年小樽に住まい、毎日書道展名誉会長・北海道書道展運営委員長・全日本書道連盟参与・小樽書道市展委員長などを歴任し、2010年7月、103歳の天寿を全うしました。

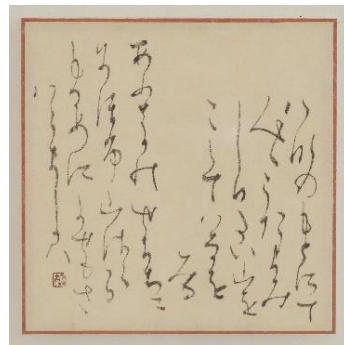
本展は、北海道書道界の重鎮として長く指導に携わり、毎日書道展のほか、創玄書道会や北海道書道連盟の創設にも深くかかわってきた宇野静山の書作品を展覧し、その功績を偲ぶものです。



<臥龍社門人たちと>



鳥



あふさかのせきぢに
にほふ山くわい
もるめにかせよ
さはらましかば

宇野静山 1906～2010 【書歴】

- 昭和12年(1937) 第1回大日本書道院展銅賞
- 昭和15年(1940) 第5回全国教職員特選
- 昭和15年(1940) 第2回興亜書道連盟日滿支三国展銀賞
- 昭和15年(1940) 臥龍社創立
- 昭和23年(1948) 現代代表書道家展推薦出品
- 昭和27年(1952) 美術文化協会展推薦出品
- 昭和28年(1953) 日展入選
- 昭和38年(1963) 現代書道展推薦出品
- 昭和45年(1970) 第2回小樽市文化功労者
- 昭和49年(1974) 比田井天来記念館に作品収蔵
- 昭和52年(1977) 北海道文化賞
- 昭和52年(1977) 東京銀行パナマ支店新築にあたり作品収納され、落成式典にパナマ大統領の鑑賞をうく
- 昭和53年(1978) 訪中(上海、南京、揚州、西安、洛陽、北京)
- 昭和55年(1980) 東大寺昭和大納経、華嚴経奉納
- 昭和57年(1982) 日中書道芸術交流推薦出品
- 昭和57年(1982) 成田山大塔建立記念献書奉納
- 昭和58年(1983) 喜寿記念代表書家作品集に推薦
- 昭和61年(1986) パラグアイ大使館に作品収蔵
- 昭和61年(1986) 中国大連個展

関連事業 公開座談会 書道大家・宇野静山の思い出

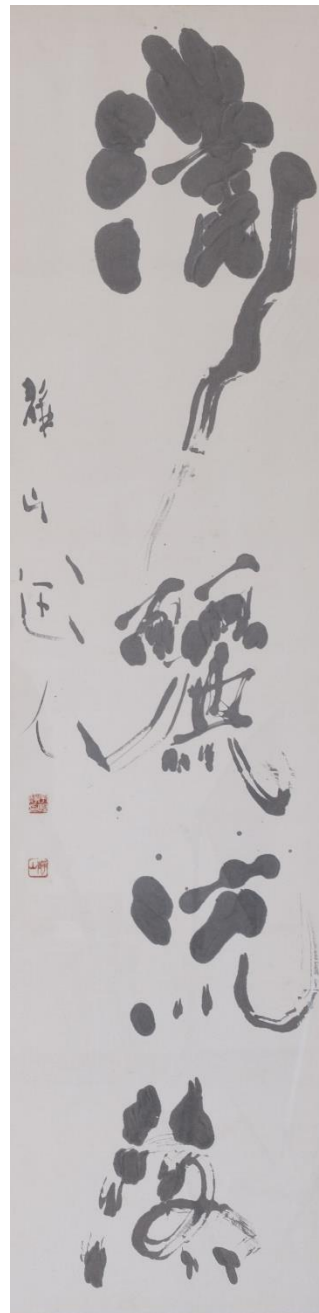
2024年3月30日(土) 13:30～14:30

出演：宇野雉洞(臥龍社社主)／吹田由紀子(臥龍社事務局長)／
北川稲谷(北海道書道展招待作家)／西 静湖(臥龍社社員)／牧野伊津(北海道書道展会友)

進行：中村秀嶺(小樽書道市展委員)

事前予約 50名様先着順 tel 0134-34-0035

会場：1階研修室／本展観覧券が必要です



瀟灑流落



龍蛇雲霧

